

イスラエル・パレスチナにおける人道的な停戦等の実現に関する決議

イスラエルとパレスチナのイスラム組織ハ马斯の軍事衝突により、尊い人命が深刻な危機的状况にさらされるとともに、市街地に甚大な被害をもたらしている。

2023年12月12日の国連総会では、イスラエルとハ马斯の双方をはじめ全ての当事者に対し、国際人道法の遵守、全ての民間人の即時かつ無条件の解放を求める、「人道目的の即時停戦」を求める決議案には日本を含む150か国以上が賛成し、賛成多数で決議は採択されたにもかかわらず、民間人の被害が後を絶たない。

「非核平和都市宣言」にもある恒久の平和と安全を求める本市議会は、人道的立場から一日も早い停戦協定実現の上、平和的解決を強く求める。

以上、決議する。

令和6年3月21日

春日市議会